

令和7年3月6日

県内企業等の成長を牽引するコア人材を育成します！ ～第2期「やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム」受講者募集～

【本件のポイント】

- 山形大学が事務局を務める「やまがた社会共創プラットフォーム」（「やまぷら」）では、山形県内の企業等を対象とした「やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム」を令和6年度に初めて実施。県内企業17社19名が受講した（右はR6.10.25開催の修了式）。
- 令和7年度は、受講生からのフィードバックを踏まえ、プログラム内容をブラッシュアップし、**第2期受講生の募集を開始する（R7.3.31まで）**。
- 産学官金医の連携組織である「やまぷら」は、本プログラムを継続的に実施し、**県内産業界で活躍していくコア人材を“オールやまがた”で育成していく**。



【概要】

本学が事務局を務める「やまぷら」では、**文部科学省補正予算「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」に2年連続で採択**され、県内リカレント教育の実態・ニーズ調査、評価指標・環境促進指針の作成、経営者マインドセットの醸成等の事業を行い、今年度は、その一環として組織や事業の成長を牽引していくコア人材の育成を希望する山形県内の企業・団体を対象に「**やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム**」を開講し、**県内企業 17 社 19 名が受講**しました。

令和7年度は、今期プログラムにおける課題や受講生からのフィードバックを踏まえ、**講師陣に(株)山形銀行の佐藤英司頭取や西川町の菅野大志町長を迎え**するとともに**財務シミュレーションや実地企業研修を追加**するなど内容をブラッシュアップした上で、**第2期プログラムを開講**します。

産学官金医の連携で全国屈指の総合型地域連携型プラットフォームである「やまぷら」は、本プログラムを継続的に実施して、**県内産業界で活躍していくコア人材を“オールやまがた”で育成**してまいります。

【プログラム概要】＜詳細は別添「募集要項」をご参照ください＞

- 履修期間：令和7年5月9日（金）開講、令和7年10月24日（金）修了予定
- 受講料：25万円 ※厚生労働省「人材開発支援助成金」助成制度あり（例：受講費用の45%助成等）
- 開講場所：山形大学小白川キャンパス ※一部実地研修あり
- 受講形態：対面
- 講義時間：計67時間
- 募集定員30名
- 応募方法：WEB応募フォームから申し込み
- 応募締切：令和7年3月31日（月）



（お問い合わせ）

国立大学法人山形大学 総務部総務課 社会共創推進事務局 樋口、石澤

（やまがた社会共創プラットフォーム事務局）

TEL 023-628-4615 メール yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

やまがた共創塾 地域産業コア人材 育成プログラム

Core Human Resources Development Program for Regional Industry

令和 7 年度 受講者募集要項

＼ 昨年度プログラムの様子はこちら！／

(約 1 分 40 秒)



企業・団体の中核として組織や事業の成長を牽引していくコア人材の育成を後押しします。

少子高齢化や人口減など様々な地域課題があるなか、山形県にとって継続的な産業人材の育成が喫緊の課題となっています。これらの課題を解決し、地域経済や産業の活力を維持・向上させていくため、各企業・団体の中核として組織や事業の成長を牽引していくコア人材を育成する教育プログラムが必要とされています。

本プログラムは、やまがた社会共創プラットフォームにおけるリカレント教育として山形大学が企画・運営する、産学官金連携による人材育成プログラムです。プログラム修了者には、山形大学の『地域産業コア人材育成プログラム修了証』を授与します。

プログラムの特長

1

地域産業の ニーズに応えた カスタムメイドプログラム

企業等団体・個人へのアンケート及びヒアリング結果に基づき、そのニーズに応える内容で構成された教育プログラムです。産学官金から多数の実務家講師が授業を担当いたします。

2

経営シミュレーション などに重点を置いた 実践的な講義

多くの優良企業の研修にも採用されているシミュレーション教材を使用します。経営視点を持って意思決定する体験を通し、コア人材としての実践力を身につけることができます。

3

5ヶ月・67時間の インターバル型 リカレント教育

隔週金曜日（一部土曜日）に開講する5ヶ月・67時間の教育プログラムです。時間をかけて体系的に学ぶことで、コア人材に必要な力を着実に身につけることができます。

対象者

組織や事業の成長を牽引していくコア人材の育成を希望する企業・団体。

中堅層・プレマネジメント層・管理者層におすすめ。

※業種は問いません。公務員の方の参加も歓迎。

コア人材育成のイメージ



第1期生（2024年度）の声

- ・経営シミュレーションを実践してみて、経営に必要な知識・考え方・戦略が重要になってくること、5年、10年先を見据えた会社経営が必要と感じました。（Aさん・30代）
- ・時代にマッチする条件を自組織の状況と世の中の情勢を鑑みながら判断し、リーダー像の在り方について学ぶことができました。（Bさん・40代）
- ・普段の仕事ではかかわることが少ない様々な業種の方々とディスカッションし、多様な考え方を学ぶことができ大変刺激を受けた5か月間でした。これからの自分の大きな財産になったと感じております。（Cさん・40代）

1 オリエンテーション

本プログラムの流れと期待について説明を行う。また受講者は事前にアセスメントを受け、自身の強みを理解しておき、それを自己紹介に使う。基調講演として山形銀行佐藤頭取が講演。
(※受講者の所属企業の経営者または、担当役員も参加可)

2 組織経営、リーダーシップ、ハラスメント対応

組織経営のあり方は環境変化と経営戦略に従う。組織経営を「人と組織と社会」の視点から再検討し、その実現のために必要なリーダーシップを探る。また、日常の職場運営をハラスメント対応の視点から考える。

3 ヒューマンリソース開発、チームビルディング

チームの個々人とそのつながりに焦点をあて、個人とチームの活性化と成長のポイントをつかむ。それぞれの個性やもち味を活かす「人と人」「仕事と働き方」の組み合わせを探り、強くて成果をあげるチームづくりのポイントを自職場で実践する。

4 課題発見から始める価値創出のヒント

成熟した時代にあって、目に見えるニーズの多くは既に満たされ、市場は飽和している。そこで新たな価値を生み出すには、顧客が抱える課題を発見し、その解決策を提示する必要がある。そのプロセスにおける考え方やヒントを学ぶ。

5 財務分析、財務シミュレーション

財務三表を理解し、事業活動の「何」が財務に影響するかについて財務シミュレーション教材を使い学ぶ。また、自分の本業での役割が自社の財務でどのように影響するかも理解する。

6-7 経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定、資金調達

製造業（自動車）の経営をチーム対抗で行う。経験や知識をフル活用して、シミュレーション上の会社経営を行う。またこの体験からの学びをどのように本業での役割につなげることができるかも振り返る。

8 修了生との交流授業

第1期生による実践報告を行い、実際の現場での経験や成果を共有する。パネルディスカッションでは様々な悩みや疑問を深掘りし、参加者全員で考察を深める。特別講演として西川町菅野町長が講演。
(※講義終了後は、1期生、2期生交流会を開催する)

9 経営の実例に学ぶ

現地企業視察を通じて実際の経営課題を学び、社長講演で経営戦略やリーダーシップについて直接話を聞く。その後のディスカッションでは、学んだ内容を自社にどのように活かせるかを深掘りし、実践的な知識を習得する。

10-11 経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化、プロジェクト管理、事業効率（財務観点）

架空の会社を運営してみる。戦略を策定し、戦略に合致する顧客獲得を行い、且つ顧客にフィットする人材の採用と業務指示を行う。顧客と人材は他社から狙われることもあり、攻めの経営だけでなく守りについても考えることが重要。この学びをどのように本業での役割につなげることができるかも振り返る。

12 事業運営においての追加要素およびDX 概論・演習

事業実行に伴い、これまで様々な経営因子を学んできた。ここでは、「マーケティング」に内包される「プライシング」「市場把握」などの競合対策を含め自社のUSPを見極め注力するために戦略思考及び、人的導入の難しさからオペレーション改革を実行しDX戦略に繋げていく。業務の棚卸・サプライチェーンの見直しの概念を学ぶ。

13 ケーススタディー 現実の事例について議論し、自社への応用につなげる

ある企業での実例を使い、その理由・原因を探り対応のポイントを見出す。その内容を自社に応用する為の目標とアクションプランを作成し、まず人に働きかける行動で成果を生み出す実習を行なう。

14 学びの総括・クロージング・修了式・懇親会

学びのポイントの振り返り。「学んだこと」と「学びを明日からどのように活かすか」について各自事前に資料を作成しそれに基づき発表する。また発表内容について質疑応答を経ることにより、学びをできるだけ記憶に残せるようにする。

(※受講者の所属企業の経営者または、担当役員も参加可)

プログラム概要

履修期間

5ヶ月間

令和7年 5月 9日（金）開講
令和7年10月24日（金）修了 予定

受講料

25万円

※納付いただいた受講料は返付できません。
※7/4、7/25、7/26、8/22、9/12、9/13の
昼食代を含んでおります。

開講場所

山形大学 小白川キャンパス

※8/22は、実地研修となります。

受講形式

対面形式

講義時間

計67時間（全14回）

原則金曜日及び土曜日に開講

修了要件

以下の要件を満たすこと

- (1) 全時間数のうち8割の出席
- (2) 各講義ごとに提出する課題の点数が
合格ラインであること

応募資格

高等学校卒業者等の大学入学資格を有している方

募集定員

30名（一企業・団体から複数名の受講可能）

※最低開講人数は10名です。申込者多数の場合は選考を行うことがあります。また、人数に達しない場合は実施できない可能性があります。

応募方法

- (1) WEB応募フォームからお申し込みください。
- (2) 受講料の納付については別途ご案内いたします。

応募締切

令和7年 3月31日（月）



WEB申込は
こちらから

<https://forms.office.com/r/GEth0zMsqH>



講師陣



山形大学 副学長・教授

OMORI Katsura

大森 桂

1 オリエンテーション

14 学びの総括、発表・質疑応答



山形大学 准教授

SUGAOI Tatsuhito

菅生 達仁

1 オリエンテーション

5 財務分析、財務シミュレーション

6・7 経営シミュレーション①

10・11 経営シミュレーション②

14 学びの総括、発表・質疑応答



株式会社山形銀行 取締役頭取

SATOU Eiji

佐藤 英司

1 基調講演



ライフマナーサポート 代表

KANAZAWA Nobuo

金沢 信雄

2 組織経営、リーダーシップ、ハラスメント対応

3 ヒューマンリソース開発、チームビルディング

13 ケーススタディ



西川町 町長

KANNO Daishi

菅野 大志

8 特別講演



株式会社ダイユー 代表取締役社長

YAKUWA Takeshi

八鍬 毅

9 経営の実例に学ぶ



有限会社舟形マッシュルーム 代表取締役会長

NAGASAWA Mitsuyoshi

長澤 光芳

9 経営の実例に学ぶ



東北芸術工科大学 教授

SEKI yoshiki

関 良樹

12 事業運営においての追加要素およびDX概論・演習



日本政策金融公庫総合研究所 副所長

FUJII Tatsunori

藤井 辰紀

4 課題発見から始まる価値創出のヒント

※プログラム内容は現在検討中であり、変更になる可能性があります。

開講スケジュール

回	授業日	受講形式	開始	終了	時数 (h)	講義内容・テーマ	講師等
1	5月 9日 (金)	対面	14:00	17:00	3	オリエンテーション 基調講演：山形銀行 佐藤 英司 頭取	やまがた共創塾 塾長 大森 桂
2	5月23日 (金)	対面	13:00	17:00	4	組織経営 リーダーシップ ハラスメント対応	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄
3	6月 6日 (金)	対面	13:00	17:00	4	ヒューマンリソース開発 チームビルディング	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄
4	6月20日 (金)	対面	14:00	17:00	3	課題発見から始める価値創出のヒント	日本政策金融公庫総合研究所 副所長 藤井 辰紀
5	7月 4日 (金)	対面	9:00	17:00	7	財務分析 財務シミュレーション	山形大学 准教授 菅生 達仁
6	7月25日 (金)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定、資金調達	山形大学 准教授 菅生 達仁
7	7月26日 (土)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定、資金調達	山形大学 准教授 菅生 達仁
8	8月 8日 (金)	対面	14:00 17:30	17:00 19:00	3	特別講演：西川町 菅野 大志 町長 1 期生実践報告、パネルディスカッション 講義終了後、交流会（1 期生、2 期生）	進行 運営事務局
9	8月22日 (金)	対面	10:00	16:00	5	経営の実例に学ぶ【実地研修】 現地研修：舟形マッシュルーム・ダイユー現地視察、 社長講演、ディスカッション	株式会社ダイユー 代表取締役社長 八 嶺 毅 有限会社舟形マッシュルーム 代表取締役会長 長澤 光芳
10	9月12日 (金)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化、プロジェクト管理、 事業効率（財務観点）	山形大学 准教授 菅生 達仁
11	9月13日 (土)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化、プロジェクト管理、 事業効率（財務観点）	山形大学 准教授 菅生 達仁
12	9月26日 (金)	対面	14:00	17:00	3	事業運営における 追加要素およびDX概論・演習	東北芸術工科大学 教授 関 良樹
13	10月10日 (金)	対面	13:00	17:00	4	ケーススタディ 現実の事例について議論し、自社への応用につなげる	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄
14	10月24日 (金)	対面	14:00	17:00	3	学びの総括、発表・質疑応答	やまがた共創塾 塾長 大森 桂
			17:30	19:30		修了式、懇親会	山形大学 准教授 菅生 達仁

人材開発支援助成金のご案内

企業が従業員に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って受講させた場合、厚生労働省より「人材開発支援助成金」の支援が受けられます。

【助成内容】

- ・人材育成訓練受講経費の助成 45% (中小企業の場合)
- ・人材育成訓練受講期間中の賃金の助成 1 時間 760 円 (中小企業の場合)

※助成額は事業規模等によって企業ごとに異なります。

【支給条件】

- ・従業員に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施する企業
- ・時間数のうち8割以上の出席

【受講前手続き】

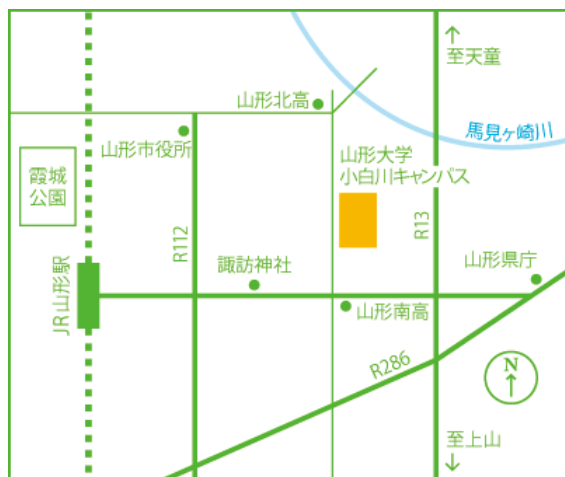
開講日の1ヶ月前までに『職業訓練実施計画届』、その他必要な書類を労働局へ提出

[令和7年1月31日現在]

申込期日：令和7年4月9日（水）

詳細は労働局までお問い合わせください

アクセスマップ



小白川キャンパス

地域産業コア人材育成プログラムは、山形大学小白川キャンパス内での開講を予定しております。
※一部、実地研修あり

JR 山形駅から

- 東方へ約 2.5km (徒歩約 30 分)
- ベニちゃんバス「東くるりん 東原町先回りコース」で「山大前」下車 (所要時間約 9 分)
- 市内路線バス「県庁前・県庁北口」行きで「南高前・山大入口」下車 (所要時間約 6 分)、そこから徒歩約 7 分

お問い合わせ

山形大学 総務部総務課 社会共創推進事務室
(やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム 事務局)

MAIL : yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL : 023-628-4615

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目 4-12 (法人本部棟)



やまがた社会共創
プラットフォーム



山形リカレント教育アカデミー
Yamagata Recurrent Education Academy

